

環境仕様



「2030年度燃費基準65%達成車」



「平成30年排出ガス基準75%低減レベル」認定車

基礎情報	車両型式	6AA-KC2	
	原動機	型式	JNB-H2-H3-H3
		総排気量(L)	3.471
	駆動装置	駆動方式	4WD
環境性能情報	燃料消費率 ^{*1}	変速機	7速デュアルクラッチトランスミッション
		燃費(km/L)	14.6
		JC08モード CO ₂ 排出量(g/km) 〈燃費からの換算値〉	159.0
		参考	2030年度燃費基準65%達成車
		燃費(km/L) ^{*2}	12.4
		市街地モード(WLTC-L)	9.4
		郊外モード(WLTC-M)	13.4
		高速道路モード(WLTC-H)	13.6
		CO ₂ 排出量(g/km) 〈燃費からの換算値〉	187.2
		適合規制・認定レベル	平成30年排出ガス基準75%低減
排出ガス	試験モード	WLTCモード	
		CO	1.15
		NMHC	0.025
		(単位:g/km) NOx	0.013
		PM	—
		参考	九都県市指定低公害車の基準に適合(平成30年基準)
環境への取り組み	適合騒音規制レベル		平成10年騒音規制 規制値: 加速走行76dB(A)
	エアコン冷媒	種類/GWP値 ^{*3}	HFC-134a/1430 ^{*4}
		使用量	460g
	車室内VOC		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)
環境負荷物質削減	リサイクル	鉛 ^{*5}	自工会2006年目標達成(1996年使用量 ^{*6} の1/10)
		水銀 ^{*7}	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止 ^{*8})
		六価クロム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)
		カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)
		自工会目標適用除外部品	*5: 鉛バッテリー(リサイクル回収ルートが確立されているため除外) *7: ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンピューターメーター、ディスチャージヘッドライト、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)
		樹脂、ゴム部品への材料表示	樹脂、ゴム部品に可能な限り全て
環境負荷物質使用状況等	再生材を使用している部品	アンダーコート、インナーウェザーストリップ、インパネ表皮、ウインドウモール、オープニングトリム、グローブボックス、サンルーフドレンホース、センターコンソール、ダストシーラー、ドアハーネス、ドアライニング、バンパーフェース、ピラーガーニッシュ、マスチックシーラー、ライダーガーニッシュ、リアフロアアンダーカバーなど内外装部品	
		リサイクル可能率	エアコンダクト、吸音材
		リサイクル率	車全体で90%以上 ^{*10}
		鉛	使用部品: 電子基盤、電気部品のはんだ、圧電素子等(PZTセンサー)、軸受/ペアリング、燃料タンク
	環境負荷物質使用状況等	水銀	全廃済み
		六価クロム	全廃済み
		カドミウム	全廃済み
		その他	グリーン購入法適合状況

*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

*2 WLTCモード: 市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード: 信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。
郊外モード: 信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード: 高速道路等での走行を想定。

*3 GWP: Global Warming Potential(地球温暖化係数)

*4 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。

*5 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。

*6 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。

*7 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。

*8 「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。

*9 この環境仕様書は2021年4月現在のものです。

*写真の車両の「燃費基準達成ステッカー」と「低排出ガス車認定ステッカー」は、実際の車両には貼られていない場合がございます。また、写真上の当該ステッカーの内容は、2021年3月末時点のものです。